

研究課題名	手術室薬剤師の多職種連携による周術期薬学的管理の有用性評価
研究期間	実施許可日 ～ 2028年 3月 31日
研究の対象	2022年4月1日～2027年3月31日の間に、広島大学病院で手術を施行した患者さん。ただし、時間外、休日に手術を施行した患者さんは除きます。
研究の目的・方法	周術期薬物療法適正化の観点から薬剤師の連携が重要視されていますが、手術室薬剤師の多職種連携に着目した有用性は明らかになっていません。そのため、本研究では、手術室薬剤師と多職種との連携とその内容について、手術室薬剤師が記した記録や診療録情報を分析し、周術期の適正な薬物療法の実施への薬剤師の寄与を明らかにすることを目的としています。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録情報を調査して行います。診療録から使用する内容は、年齢、性別、身長、体重、アレルギー・副作用歴、既往歴、服用薬、検査値、術式、乗り物酔いの有無、PONV、バイタル、術中使用薬剤、術中記録、薬剤管理指導記録です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院薬剤部

担当者：宮本 佳奈

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5579